

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026年日本陸上競技連盟競技規則および、競技会における広告および展示物に関する規定による。

2 練習について

主競技場及び室内練習場（ウッドストレート）、球技場を利用し「練習会場使用上の注意事項」に基づき、練習することができる。

前日の練習は11時から17時までとする。

当日の練習は7時からとし、主競技場は9時まで、室内練習場及び球技場は16時までとする。

なお、競技中でも主競技場の空きスペースを可能な限り利用できるようにする。いずれも係員の指示に従うこと。

3 招集について

① 選手招集所について

(1) 競技場第1ゲート（100mフィニッシュライン側）外側に設ける。

(2) フィールド種目も招集所で点呼を受けること。

- ② プログラム記載の招集開始時刻までに招集場所に集合すること。招集開始時刻より点呼を開始する。点呼時、競技者本人がアスリートビブス・スパイク・衣類等の確認を受けること。招集完了時刻に遅れた選手は、その競技種目に出場できない。

(1) トラック種目

組	招集開始	招集完了
1組～3組	競技開始25分前	競技開始15分前
4組～6組	競技開始10分前	競技開始時刻

(2) フィールド種目

種目	招集開始	招集完了
3種目全て	競技開始40分前	競技開始30分前

- ③ 本大会は、TR4.4を適用しない。
- ④ 招集所から競技場所への移動は、係員の指示に従うこと。
- ⑤ 棄権をする場合は、招集開始時刻までに「欠場届」に必要事項を記入し招集所に提出すること。
- ⑥ 助力とみなされる機器等は競技場内に持ち込むことはできない。

4 アスリートビブスについて

受付時に配布するアスリートビブスをそのままの形でユニフォームの胸部と背部に着けること。ただし、跳躍種目に出場する選手は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。

5 競技について

- ① 本競技会は、日本グランプリシリーズ、グレード2、世界陸上競技連盟WRk 対象競技会、F カテゴリー大会として実施する。
- ② トラック種目のうち、男女100m・男女200m・女子100mH・男子110mHは予選を行い、決勝進出者を決定する。男女400m・男女400mHは1本のみのタイムレースとする。
- ③ 予選のある種目は3組2着＋2もしくは4組1着＋4で予選を行う。
- ④ 決勝へ進出できなかった選手はチャレンジレースに臨むことができる。
ただし、チャレンジレースの成績は総合順位には反映されない。
- ⑤ フィールド種目は、すべて決勝のみとする。
- ⑥ 走幅跳・三段跳は男女とも同時時間帯に競技を行い、男女ともそれぞれ1ピットで行う。
- ⑦ 走高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。ただし、コンディション等によっては変更もある。

種 目	バーの上げ方						
男子走高跳	2m05	2m10	2m15	2m18	2m21	2m24	以降 3cm
女子走高跳	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m84	以降 3cm

6 その他

- ① 主催者は競技中に発生した傷害や事故等に対して応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
- ② 大会申し合わせ事項等に従うとともに、競技会の円滑な運営に協力すること。
- ③ 万一の事故に備えて傷害保険に加入するなど、万全の対策を講じておくこと。
- ④ 競技用具(投てき物)は、TR32の通りとし、個人所有の用具を認める。
- ⑤ 助力についても、競技規則に則る。助言、映像機器の視聴等は認めるが、競技区域近くのスタンドに設けたコーチングエリアのみとする。
- ⑥ 競技場の開門時間は、原則、前日は11時、当日は7時00分とする。
- ⑦ 富士北麓公園大駐車場の開門時刻は、当日は6時30分とする。前日は状況により開門する。
- ⑧ 撮影内容が競技会趣旨と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めることがある。
内容によっては退場を求めることがある。
- ⑨ 報道等で撮影を行う場合は、必ず事前に受付をして、主催者が用意したビブスを着用する。
- ⑩ 観戦をしているなかで、競技運営に重大な支障をきたしたり、他の観戦者に多大な迷惑をかけていると判断した場合は退場を求める。
- ⑪ 貴重品の管理は各自で行い、不審者等の疑いがある場合は、早急に大会本部に連絡する。
- ⑫ スタンドでの立ち見及びテント設営は禁止する。
- ⑬ 競技場外についても、不適切な行為等については厳しく対処する。
- ⑭ 各自のゴミは必ず持ち帰り、公園内を汚さないこと。